

20130422

## **2013年4月22日　日本テレビ 定例記者会見**

### **《要旨》**

#### **＜発表＞**

##### **・長嶋茂雄＆松井秀喜 W国民栄誉賞！独占生中継スペシャル**

長嶋茂雄さんと松井秀喜さんの国民栄誉賞授与のセレモニーが、5月5日こどもの日、東京ドームで行われる。日本テレビは、巨人戦を中心にプロ野球の発展を目指し、野球中継に力を入れてきたテレビ局として、これを生中継する。セレモニーは、巨人対広島戦の前に行われ、12時45分から生放送する。久しぶりに長嶋さん、松井さんの2人が揃う歴史的な場面を野球ファンにお届けしたい。

##### **・巨人軍セ・パ交流戦全試合を日テレオンデマンドで配信決定！**

先月、「日テレオンデマンド」で読売巨人軍主催試合全72試合をライブストリーミング配信することを発表したが、同サイト内でセ・パ交流戦でのパシフィックリーグ球団主催の巨人戦試合（全12試合）も加えて配信する。野球ファンの皆様に広く利用していただきたい。

##### **・「密室謎解きバラエティー 脱出ゲーム DERO！」米国版の放送が決定！**

2010年4月から2011年3月まで放送していたクイズ・バラエティー番組「密室謎解きバラエティー 脱出ゲーム DERO！」の米国での放送が決定した。フォーマット販売による番組で、6月4日から「EXIT」という米国版タイトルで放送が開始される。

#### **1. 視聴率動向と編成戦略**

##### **・2012年度の視聴率**

2012年度の視聴率は、全日7.9%で、単独でトップを守った。プライムは11.9%で2着。ゴールデンは12.1%で、こちらも2着だった。

常に三冠王を目指し、その獲得を2年、3年と続けていくことが大事だと社内に号令をかけてきたが、ライバル局も強力な番組を育て、残念ながらこのような結果となった。若い方々に観てもらうことは、ここ数年間取り組んできたテーマであり、この点はかなり改善

さてきている。とは言え、若者や高齢者など、特定の世代に偏った番組ではなく、家族全体で楽しんでいただける番組、あらゆる世代に支持される番組を作っていくことが大きな目標である。世帯視聴率三冠王奪取を今年最大の目標にすると共に、番組内容の向上をきちんと果たしていきたい。

#### ・4月期改編番組

4月からの新しいバラエティ一番組については、「赤丸！スクープ甲子園」「笑神様は突然に・・・」の2番組を、それぞれ1回ずつ通常のレギュラーの枠を拡張して放送した。現場のプロデューサー、ディレクターともに手応えを掴んでおり、内容は放送回数を追うごとに改善されていくと思われる。加えて4月23日には「幸せ！ボンビーガール」もスタートする。

水曜ドラマ「雲の階段」が初回9.2%。今後、主人公が野心と三角関係に挟まれるというストーリーが展開され、さらに面白い内容になっていくので、期待してほしい。今後、ドラマの内容をより知っていただけるようPRを展開し、視聴者層をさらに拡大していきたい。

土曜ドラマ「35歳の高校生」は、裏番組が強力だったにもかかわらず健闘した。今週3回目の放送となるが、今後もしっかりとPR展開を行い、初回視聴率を上回るような上昇気流に乗せていきたい。

## 2. 営業状況と放送外収入

2012年度の営業セールスは、全体として大変好調だった。タイム、スポットとも前年度比100%を上回り、売上では年度の当初予算も超えることができた。

1月、3月単月のスポットの売上は、ライバル局にわずかに及ばなかったが、2月はかなりの差を付けてトップとなった。そのため2012年度の第4四半期では、スポット売上でトップになることができた。これは数年かけてタイムテーブルを改善してきた成果の現れであり、番組内容がこれまで以上にスポンサーに支持されるものになったためだと思う。今のところ4月、5月は、関東地区のスポット広告投下量は100%に届かない見込みで、厳しい状況にある。

タイムでは、レギュラー番組のセールスが順調に進んでいる。単発番組、特に開局60年関連の特別番組のセールスが、今後の大きなテーマになる。

アベノミクスで景気が上向いているというが、広告市況に影響してくるにはもう少し時間がかかるのではないかと感じている。

## ・放送外収入

コンテンツ事業全体では、前年度比で增收増益になっている。中でも好調だったのは、映画事業、有料放送事業、イベント事業である。

映画事業では「おおかみこどもの雨と雪」「ツナグ」「ホタルノヒカリ」「劇場版 HUNTER×HUNTER 紺色の幻影（ファンタム・ルージュ）」が好調だった。

有料放送事業では、巨人戦ならびに野球全体が盛り上がり、「G+」などの加入者数が増加し、利益もあがった。

イベント事業では「大エルミタージュ美術館展」、ミュージカル「アニー」、東京都現代美術館で開催された「館長庵野秀明 特撮博物館」、「里見八犬伝」などが好調。

先週土曜日に公開された映画「名探偵コナン 絶海の探偵（プライベート・アイ）」は土日で約 56 万 5,900 人を動員し、約 6 億 7,000 万円の興行収入をあげた。昨年の「名探偵コナン 11 人のストライカー」よりも約 6.6% 伸びている。

4 月 26 日に公開予定の映画「藁の楯」は、今年のカンヌ映画祭のコンペティション部門へ公式に選出されることが決定した。これをばねにして、より多くの人に観ていただくための努力をしていく。

また、イベントでは、「ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展」が開催されており、好調に推移。また、お馴染みのミュージカル「アニー」が先週土曜日から始まった。

昨年の 12 月の組織改編で、海外ビジネス推進室が設立されたが、通期の実績で、予算比、対前年比ともに增收増益だった。主な要素は「HUNTER×HUNTER」の番組販売やグッズ関連事業。またフォーマット販売では「¥マネーの虎」が好調で売上に貢献した。

また、マレーシアの Media Prima というメディアコングロマリット企業と合意書を締結した。今後可能性のあるビジネス分野の協業と事業提携について協議するという内容である。マレーシアは、1 人あたりの GDP が東南アジアで、シンガポールに続いて第 2 位の市場規模を持っており、今後の展開を期待している。

また、MIPTV が 4 月 8 日から 11 日までカンヌで開催された。弊社のフォーマット番組では「世界一受けたい授業」の茂木健一郎さんのコーナーである「アハ体験」をスピンオフで番組にしたもののが好評だった。「世界の果てまでイッテ Q！」の番組販売も反応が良く、アジア、香港、台湾、タイ、マレーシア、シンガポールなどから問い合わせがあった。

### 3. その他

#### ・東京スカイツリー「受信確認テスト」

スカイツリーへの移転については、NHK と民放 5 社共同で対応策を講じており、揃って移転をすることを準備を行っている。現状では、引き続き受信確認テストを行い、視聴できないという視聴者の方々からのご連絡を受け、受信可能となるように工事対応を行う等々の作業を続けている。

切り替え日を最終的にいつにするのか、そのことをいつ発表するかということについては、現在、工事等の進捗状況をにらみながら検討している。各社集まった場で正式決定がなされ、それを踏まえて発表されることになる。

新聞広告やラジオ・テレビ欄で受信確認テストの告知をしている。視聴者の皆様には受信に問題がある場合には、できるだけ早く連絡していただきたい。東京スカイツリーへの送信所移転に関する記事は、是非各媒体で取り上げていただき、視聴者の方々により良く伝わるよう、ご協力をお願いしたい。

(了)